

今後の取組

木曽ヒノキ林の育成のためには、人為が必要不可欠のものであり、森林の状況に応じて適切な施業方法を選択することにより、我が国の宝ともいえる木曽ヒノキ林を永続的に維持していきたいと考えております。

中部森林管理局では、この歴史ある木曽谷の木曽ヒノキ林を、今後も保護する林分と、継続的に施業を行っていく林分とに区分し、現地の実態に合わせた皆伐、漸伐及び択伐を組み合わせ、人工造林や天然更新により、長伐期のヒノキ人工林の育成を含め、木曽ヒノキ林の育成を図ることとしています。

